



第324号

2016年(平成28年)1月1日

大臨技ニュース

〒543-0018
大阪市天王寺区空満町8-33
大阪府医師協同組合東館4階
TEL.06-6763-5652 FAX.06-6763-5653
公益社団法人 大阪府臨床検査技師会
発行責任者: 竹浦 久司
大臨技ホームページ URL
<http://www.osaka-amt.or.jp/>

平成二十八年

年頭所感

公益社団法人 大阪府臨床検査技師会
会長 竹浦 久司



新春を迎え心からお慶び申し上げます。
公益社団法人大阪府臨床検査技師会を代表し、
日頃からご支援をいただいている皆様にはこの場を
お借りして厚く御礼申し上げます。

昨年は、世界情勢が非常に不安定な時期でありました。ロシア機の墜落事故が10月31日にエジプト東部のシナイ半島で起き、残骸の調査の結果、最大でTNT火薬1キロ相当の手製の爆発物が機体に積まれていたことが分かってイスラム国(IS)のテロと断定されました。パリで11月13日に同時多発テロが起きたことも踏まえ、テロ勢力との戦いで欧米を含む国際的な協力を進める姿勢が鮮明になりました。

さて、スポーツに話を移すと日本ラグビーは、開催前の評価では1勝すら難しいと言われていたが、いざ試合が始まるとワールドカップにて3勝する快挙であったが、残念ながら決勝ラウンドへ行くことができませんでした。一方、体操の世界選手権の男子団体で、日本が37年ぶりとなる金メダルを獲得しました。五輪も含めると、日本が団体で金メダルを獲得したのは2004年のアテネ五輪以来11年ぶりだそうです。

当会としましては8年ぶりに10月17日・18日の2日間第55回日臨技近畿支部医学検査学会を開催しました。参加者は会員：1,243人、非会員：46人、賛助会員：223人、検査医会：128人、日衛協：87人、学生290人、その他51人と総勢2,068人の方が参加していただき、成功裡に終わることができたのも、ひとえに皆様のお陰であると感じております。また、昨年中に会員皆様に配布されたマイナンバーですが、今年の1月1日より実行されます。当会で研修会や勉強会のご講演いただく先生方の対応で今までは現住所、氏名、印鑑に追加してマイナンバーを確認することが発生しますのでよろしくお願い致します。

また、2016年度は診療報酬の改定になります。我々としては、検体検査の臨床価値とコスト、臨床検査の診療報酬の仕組み、検体検査の性能と診療報酬、採血手技料、生理検査の病棟へ出向く時間、等を診療報酬に反映することを願うばかりです。

今年こそは臨床検査の業界に携わる団体や企業が臨床検査の必要性和価値を高める努力を目標に一丸となることが必要であると考えています。これからもどうかご支援、ご指導をよろしくお願いいたします。

末筆ながら会員の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

日臨技臨時総会 議決権行使のお願い

日臨技会員各位

日臨技の臨時総会が平成28年1月23日(土)に開催されます。

※ 定款変更が議案としてあがっておりますので、会員の皆様の参加・委任・表決のアクションが必要とされております。日臨技から届いている「平成27年度臨時総会召集通知」(水色の封筒)の案内に入っているはがきでの郵送または電磁的登録方法(WEB・スマホでの登録)のどちらかでの提出をお願いします。

★ 日臨技ホームページ <http://www.jamt.or.jp/>

→トップに「電磁的方式による議決権行使」へのリンクがあります。(クリックすると登録用サイトにダイレクトに飛びます)

締め切り 2016年1月22日(金) 15時まで (郵送の場合は必着になります)

大臨技は日臨技との両方への入会を推奨しております。
それぞれの立場から人材育成や職域拡大の役割を担っておりますので
身近に大臨技単独の会員の方がおられましたら、ぜひ日臨技への入会をお勧めください。

平成27年度 大放技・大臨技 合同フォーラム

評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

Theme 「血管の病気 検査から診療へ」

- 日時** 平成28年1月23日(土) 14:00~16:50
(受付13:30~)
- 会場** 大阪府医師協同組合本部 8階
(大阪市営地下鉄 谷町六丁目駅③番出口下車)
- 参加費** 無料
(どなたでも参加していただけます。)
- 定員** 200名(先着)
- 主催** 公益社団法人 大阪府放射線技師会
公益社団法人 大阪府臨床検査技師会
- 連絡先** 市立豊中病院 清水 隆之
E-mail: akane@mub.biglobe.ne.jp



- 教育講演** 14:00~15:30
 - 末梢血管の放射線画像検査:画像の成り立ちと病態の捉え方
講師: 大阪市立大学医学部附属病院 中央放射線部 佐原 朋広
 - VTEにおける下肢静脈エコーの実際
講師: 大阪市立大学医学部附属病院 中央臨床検査部 吉川 淳一

- 特別講演** 15:45~16:45
チーム医療による脈管診療
講師: 関西医科大学 外科学講座・末梢血管外科 教授 駒井 宏好

渉外部 からお知らせ

平成27年度 第2回 献血推進活動 (通算第45回)

評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

市民への献血呼びかけ・献血協力

- 日時** 平成28年2月13日(土) 10:00~16:30
- 会場** 「難波グリーンガーデン」(献血車:400ml採血限定)
および 「まいどなんば献血ルーム」

- 連絡先** 市立豊中病院 清水 隆之
E-mail: akane@mub.biglobe.ne.jp

大臨技会員、臨床検査技師養成 大学・学校 の皆様、
賛助会員の皆様 ご参加ご協力お願いいたします。

学術部 臨床化学検査部門 からお知らせ

臨床化学検査部門 講演会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

Theme 「腎障害の新規バイオマーカーNGAL について」

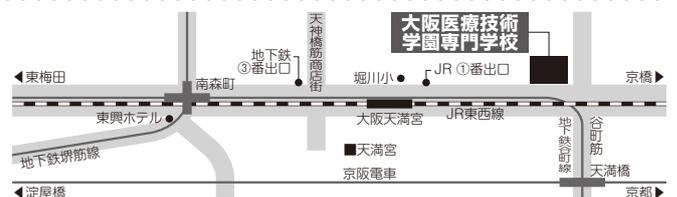
今回は、最新の腎障害バイオマーカーの意義を学びたいと思います。
好中球ゼラチナーゼ結合性リポカリン (NGAL) は急性腎障害において血中・尿中の濃度が血中シスタチンCやクレアチニンに先駆けて上昇することから腎障害の早期バイオマーカーとして注目されている項目です。
皆さまお誘い合わせのうえ、多数のご参加をお待ちしています。

- 講師** アボット ジャパン株式会社 学術情報室 青木 和雄

- 日時** 平成28年1月14日(木) 18:30~20:00

- 会場** 大阪医療技術学園専門学校 2階大教室

- 参加費** 会員500円 非会員1,000円



- 連絡先** 岸和田徳洲会病院 山中 良之
E-mail: Yoshiyuki.yamanaka@tokushukai.jp

平成27年度 日臨技近畿支部 臨床化学研修会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

主催：一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 実務担当技師会：公益社団法人 大阪府臨床検査技師会

Theme 若手技師向け 検査データの考え方

今年度の研修会では若手技師のみなさんを対象に午前の講義では検査データ判読に必要な情報の見方や血液ガスの判読方法の講義を行います。

午後からは2名の先生をお迎えしてR-CPCをグループ別に行い、患者の状態把握力の向上と自分の考えを伝える能力の向上を目指して行います。

若手技師を対象として開催させていただきますが、部署移動で臨床化学担当になった方も大歓迎です。

日時 平成28年2月13日 10:00～17:00 (受付9:30～)

会場 大阪医科大学 新講義実習棟 P101

募集人数 70名(メール申込み 先着順)

受講料 日臨技会員3,000円(テキスト付)非会員5,000円
*日臨技事業の為各地区臨床検査技師会会員のみの場合は非会員の扱いになります

連絡先 岸和田徳洲会病院 臨床検査科 山中 良之
E-mail: kinnki2015kagaku@yahoo.co.jp
(研修会専用アドレス)



大阪医科大学
案内マップ

スケジュール	
9:30 ~ 10:00	受付
10:00 ~ 10:15	開講式
10:15 ~ 11:30	講義1
	『検査データ判読ポイント』 データ判読のための必要な情報の見方考え方 近畿大学附属病院 中央検査部 増田 詩織
11:30 ~ 12:45	講義2
	『血液ガスの簡単な判読法』 血液ガスの判読の達人を目指す 倉敷芸術科学大学 生命科学部 生命医科学科 藤本 一満
12:55 ~ 13:40	ランチョンセミナー
14:00 ~ 15:15	R-CPC症例1
	京都府立医科大学 感染防御・検査医学講師 同 付属病院臨床検査部副部長 稲葉 亨
15:30 ~ 16:45	R-CPC症例2
	兵庫医科大学 臨床検査医学 主任教授 小柴 賢洋
16:45 ~ 17:00	閉講式
17:15 ~	意見交換会(別途2,000円)

■ お申込み方法

2016年1月13日(水)～2月5日(金)の間に下記の専用アドレスより申込みください

※ 集開始時期以前お申込みは受け付けません。

申込み時に氏名・施設名・会員番号・技師歴・臨床化学担当歴・意見交換会参加(別途2,000円)有無・メールアドレスをご記入ください。

詳細は後日連絡いたします。



天候等の影響で開催が危ぶまれる際は
大臨技ホームページの「大臨技行事予定カレンダー」にある情報を当日にご確認ください。

学術部 生理検査部門からのお知らせ

生理検査部門 定期講習会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

2015年大きな話題となった乳癌。皆さんの施設でも乳房エコーのオーダーが増えていませんか？日本ではこの50年で5倍以上に増えていっているとされており、乳がんが診断される患者は年間4万人に上っています。しかし乳がんは比較的予後が良い癌であり、早期発見、早期治療でさらに生存率が高まります。

今回の定期講習会では大阪市立大学医学部附属病院の藤岡一也技師をお招きし、「貴方は大丈夫？乳房超音波の基礎から読影、所見の付け方まで」と題して日常診療における乳房超音波検査の基礎から検査の進め方、読影、所見の書き方までわかりやすく解説して頂きます。皆様が日頃抱いている疑問を本講習会で解決しましょう。

Theme 「貴方は大丈夫？乳房超音波の基礎から読影、所見の付け方まで」

講師 大阪市立大学医学部附属病院 中央臨床検査部 藤岡 一也

日時 平成28年1月28日(木) 18:30~20:00

定員 100名(座席数)
※満員の際は入場をお断りする場合があります。

会場 大阪医療技術学園専門学校 2階大教室

連絡先 西宮渡辺心臓・血管センター 川崎 俊博
E-mail: kawasaki4552@gmail.com

参加費 会員500円 非会員1,000円

学術部 微生物検査部門からのお知らせ

微生物検査部門 定期講習会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

アスペルギルス属の胞子は環境中に広く存在することから、ほとんどのヒトが毎日吸入しており、免疫に障害のあるヒトや家畜ではアスペルギルス症に進行する事がある。一般的な原因菌はアスペルギルス・フミガタス (*Aspergillus fumigatus*) であるが、*A. flavus* や *A. niger* でも発生することがある。原因菌は病院内では観葉植物(鉢内の堆肥や土)、生花やドライフラワーの表面、花瓶の水、エアコンまたはヒーターの吹出し口、浮遊粉塵などから高頻度で検出され、特に、病院改築や改装の際、院内の空气中に増加することが報告されているが、この事は医療関係者の間でも周知されていない現状があるため、免疫力が落ちている者への予防が大切である。

今回、大阪市立大学大学院 医学研究科の掛屋 弘先生をお招きし、アスペルギルス症のマネジメントについてご講演いただきます。皆様の参加をお待ちしております。

Theme 「アスペルギルス症のマネジメント Up to Date, Pitfall」

講師 大阪市立大学大学院 医学研究科 臨床感染制御学附属病院 感染制御部 掛屋 弘

日時 平成28年1月21日(木) 18:30~20:00

参加費 会員500円 非会員1,000円
*受付時に大臨技会員証を必ず提示してください。会員証の忘れ及び他府県会員証では、非会員扱いになりますのでご注意ください。

会場 大阪市立大学医学部 4階小会議室

連絡先 大阪赤十字病院 市村 佳彦
E-mail: y.ichimura.orc@gmail.com

学術部 病理細胞検査部門からのお知らせ

病理組織講習会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

Theme 「病理検査技師における組織像を理解した臓器切出しについて」

講師 天理医療大学医療学部臨床検査科 教授 戸田 好信

日時 平成28年1月22日(金) 18:45~20:15

今月のテーマは「病理検査技師における組織像を理解した臓器切出しについて」です。

会場 大阪医療技術学園専門学校 2階大教室
マップ:2ページ参照

日常検査の切り出し業務で何か困っていませんか？今回は泌尿器器官におけるマクロ像、ミクロ像及び主な腫瘍の進展について基礎的な内容の理解を深めてもらい、切り出しのポイントについての講義を行います。

参加費 会員700円 非会員1,200円
*大臨技会員証を必ず提示してください。会員証の忘れと他府県会員証では非会員扱いとなります。

初心者の方はもちろん、経験者の方も知識の整理に役立つ絶好の機会です。みなさまぜひご参加ください。

連絡先 星ヶ丘医療センター 臨床検査部 三原 勝利
E-mail: kattu310a@gmail.com

検体管理システム部門 実技講習会

評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
【評価点】
日臨技生涯教育点数

「Excel 応用講座～マクロ・ExcelVBAを使った操作の自動化」



Excelを使っていると、同じ手順を繰り返し行うことがあるのではないかと思います。そのような単純な繰り返し作業は「マクロ」で記録させておき、自動的に実行できるようにしておけば作業を効率的に行う事ができるようになります。

今年度の検体管理システム部門の実技講座では、マクロ (Excel VBA) を使って操作を自動化するための方法を実習します。

- ※パソコンの台数の関係で先着30名の予約制とさせていただきます。
- ※パソコンのOSはWindows7、使用するアプリケーションはExcel2010です。
- ※パソコン・Excelの基本操作がわかる方を対象とします。
- ※日臨技・大臨師会員のみを対象とさせていただきます。
- ※シリーズ参加を基本とします。単回受講でも受付は行いますが前回の講義内容についての復習は行いません。

日時

第1回 平成28年1月23日(土) 14:00～17:00
関数とマクロの基本操作

第2回 平成28年2月6日(土) 14:00～17:00
マクロ応用操作

講師: 検体管理システム部門 世話人

会場

大阪医療技術学園専門学校 コンピュータ室

参加費

2回シリーズ参加 2,000円 (単回参加は1,500円)

定員

30名 (参加多数の場合はメール到着順とさせていただきます。)

連絡先

J R 西日本健康増進センター 大江 泰浩

E-mail mya_ohc@kdm.jrnet.ne.jp

(問い合わせ、お申込みの際は、件名のヘッダに「<検体管理>」と付けてください)

申込方法

メールで<連絡先>アドレス宛に「シリーズ」もしくは「第〇回を希望」と書いて会員番号・氏名・所属、連絡先住所をお知らせください。

申込みは大臨技ニュース1月号到着後、随時行います。

- ※ 確認のメールをお送りしますので、携帯・スマートフォンから申込みされる方は<連絡先>アドレスの受信ができるように設定をお願いします。
- ※ 着信拒否設定による連絡不通については責任を負いません。
- ※ 申込み後3日を過ぎても連絡がない場合は、<連絡先>アドレス宛にご連絡ください。

申込み シリーズの場合は1月18日(月)

期限 単回の場合は、各回の日前まで

免疫血清検査部門 定期講演会5 (初級講座5)

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
【評価点】
日臨技生涯教育点数

真冬の寒さが身に染みる季節となりましたが、体調を崩されたりされていませんか?さて、今年度5回目の免疫血清部門定期講演会には、新薬登場に沸く肝炎ウイルス治療と肝炎マーカーの読み方・考え方に焦点をあてました。

1題目には、大阪府済生会野江病院の鈴木裕介先生を迎え、「肝炎ウイルス撲滅作戦 ～最新治療薬の効きどころ～」についてお話しいただきます。2題目には、富士レビオ社の新妻幸子先生に「肝炎マーカーの読み方・考え方 ～B型肝炎ウイルス～」について、改めて検査項目をわかり易くご説明いただきます。また、de novo肝炎対策等で、得られた結果を検査室から臨床へ、どのようなアプローチが望ましいのかなどもご教授いただく予定です。皆様方の多数のご参加をお待ちしています!

日時 平成28年1月27日(水) 18:30～20:00

会場 大阪医科大学講義実習棟 学I 講堂

参加費 会員500円 非会員1,000円 定員 50名

連絡先 大阪医科大学附属病院 中央検査部 山本 憲司
E-mail: kns073@poh.osaka-med.ac.jp

内容

18:30～19:00

1. 肝炎ウイルス撲滅作戦 ～最新治療薬の効きどころ～
講師: 大阪府済生会野江病院 臨床検査科 鈴木 裕介

19:00～20:00

2. 肝炎マーカーの読み方・考え方 ～B型肝炎ウイルス～
講師: 富士レビオ株式会社 学術サービス部 新妻 幸子



大阪医科大学
案内マップ

日臨技推進事業 血液特別講演会

血液細胞の同定は、成書や関連団体、組織から示される形態基準法に基づいて悪銭苦闘しながら取り組んでいる。実践的には、重田の論法(1982)による分析帰納法、比較類推法、除外法の三法を巧みに使い分け行なっているものと思われる。それは、細胞分析から成書の基準法と比較したり、細胞形態の変動相を理解して特色を見抜いたり、どの系統にも合致しないことから別の系統を考える同定法である。重要なことは、細胞同定が揺るがぬものとなるような技量を高めて、果ては血液診断の向上を目指すことである。

本セミナーでは、末梢血・骨髓像における鑑別細胞を提示しながら形態診断の極限に迫りたい。

Theme 『揺るがぬ細胞同定は血液診断の向上を図る』

講師 福岡大学医学部腫瘍血液感染症内科学 日本小児白血病・リンパ腫研究グループ(JPLSG) 阿南 建一

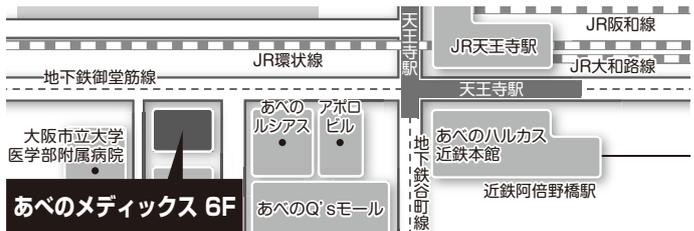
日時 平成28年2月6日(土) 14:30~17:00

会場 あべのメディックス 6階ホール

共催 ベックマン・コールター株式会社

参加費 会員500円 非会員1,000円
※今回は日臨技推進事業のため、日臨技会員も会員扱いです。

連絡先 星ヶ丘医療センター 臨床検査部 稲田 孝
TEL: 072-840-2641 (内線298)



2月 血液形態セミナー シニア 開催日変更のご案内

日時 平成28年2月2日(火) 18:30~20:00

年間予定の4日(木)から変更になります。
開催曜日が2月は火曜日となりますのでご注意ください。

情報組織部チーム医療部門 糖尿病療養指導部会からのお知らせ

多職種
公開講座

第28回 糖尿病療養指導士講演会

予告

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
【評価点】
日臨技生涯教育点数

Theme 糖尿病関連検査から探る病態と治療法・療養指導

日時 平成28年2月11日(木・祝) 13:20~17:00
(受付12:45~)

会場 大阪大学中之島センター 10階ホール

参加費 500円(一律)

定員 先着100名

共催 ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

連絡先 ふくだ内科クリニック 横山 有子
E-mail: ariko0219@gmail.com

13:20~13:30 開会挨拶 大阪府臨床検査技師会 会長
竹浦 久司

13:30~15:00 講演1部

1. 「患者サイドに近づく臨床検査技師の役割」

講師：大阪医科大学附属病院 臨床検査技師
畠村 朋子

2. 「患者さんのやる気を引き出す 糖尿病療養指導」

講師：大阪医科大学附属病院 糖尿病看護認定
看護師 井上 裕美

15:00~15:20 糖尿病関連商品のご紹介

「低血糖・高血糖の発生リスクを予測する指標
BGIのご紹介」

ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社
茶木田 真唯

15:20~15:30 休憩

15:30~17:00 講演2部

「糖尿病と ともに生きる」

講師：大阪医科大学内科学 I 教授 花房 俊昭



本研修会は

「日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修会」として

<第2群>糖尿病療養指導研修 1単位(申請中)あるいは、

<第1群>自己の医療職研修(臨床検査技師のみ) 1単位

どちらか一方で認定申請可能です。

大阪糖尿病療養指導士(CDE大阪)は2単位取得可能です。

大臨技一般検査フォーラム 2015

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
【評価点】
日臨技生涯教育点数

昨年度大変好評だった「大臨技一般検査フォーラム」を本年度も開催する運びとなりました。一般検査は、病態をスクリーニングする検査としてとても重要な検査ではありますが、今回「一般検査を考える。」をメインテーマとして、様々な方面から一般検査の重要性について再確認しようと考えております。これからの一般検査について、参加者の皆様と一緒に考えていけたらと思います。

本フォーラムはランチョンセミナー開催の都合上、予約制となっております。お手数ですが下記の参加要項をご確認のうえお申込みください。多くの方のご参加をお待ちしております。

日時 平成28年2月14日(日) 10:00~17:00

会場 関西医科大学滝井病院 南館2階臨床講堂



9:30~10:00 受付

「一般検査を考える。」

10:00~12:00

1. 尿検査を考える。
2. 異型細胞を考える。
3. 便潜血反応検査を考える。
4. 髄液検査を考える。
～髄液検査法2002から髄液検査教本への
変更点について～

講師：大臨技一般検査部門 部門員

12:10~13:00

「ランチョンセミナー」：東洋紡株式会社

13:10~14:40

5. 微生物検査を考える。
講師：大阪大学医学部附属病院 医療技術部検査部門
木村 圭吾 / 堀田 真希
神戸大学医学部附属病院 検査部
大沼 健一郎 / 中村 竜也

14:50~16:20

6. 卵円形脂肪体を考える
講師：京都市立病院 川辺 民昭

共催 東洋紡株式会社

参加費 会員1,000円 非会員2,000円

連絡先 大阪大学医学部附属病院 医療技術部検査部門 堀田 真希
E-mail: masakin@pop.dc5.so-net.ne.jp

病院付近は駐車禁止区域となっておりますので、できるだけ電車・バスなどをご利用ください。
●京阪電車「滝井駅」徒歩3分
●地下鉄谷町線・今里筋線「太子橋今市」駅2番出口徒歩10分

【募集要項】

定員 100名

申込受付期間 平成28年1月4日(月)~平成28年1月22日(金)
定員になり次第終了します。

申込方法 下記URLの申込フォームにて必要事項をご入力ください。

メールアドレス <http://goo.gl/forms/ndMqP9DOJi>

- ①氏名 ②施設名 ③施設住所 ④電話番号
- ⑤メールアドレス ⑥会員番号・会員区分
(会員証のある方のみ、日臨技・大臨技などの所属を記載)

- ※ お申込み後、土日を除き2~3日中に確認メールをお送りいたします。
- ※ 携帯メールは基本的に不可とします。ただしE-メールを受信可能な場合のみ可能とします。
- ※ お申し込みは1メールにつき1名とします。
- ※ 施設内での複数名受講は可能ですが、参加者が多数の場合は調整をお願いする場合がありますのでご了承ください。

学術部 一般検査部門 からのお知らせ

一般検査部門 定期講習会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
【評価点】
日臨技生涯教育点数

今年度の一般検査部門定期講習会は、近年新しい腎機能マーカーとして開発された尿中L-FABPの有用性と、東京大学医学部附属病院の宿谷先生による赤血球形態鑑別のポイントや症例から考える病態など、尿検査から診断できることについてご講演いただきます。

これから一般検査を始める方はもちろんのこと、知識を再確認したい方、さらにスキルアップをはかりたい方など多くの方のご参加を心よりお待ちしております。

1. 汎用機で測れるようになった尿中L-FABPの有用性
講師：積水メディカル株式会社 カスタマーサポートセンター
学術グループ 金田 幸枝
2. 尿を診る
講師：東京大学医学部附属病院 検査部 宿谷 賢一

日時 平成28年1月22日(金) 18:30~20:30

会場 エル・おおさか 6階606号室

参加費 会員500円 非会員1,000円

共催 積水メディカル株式会社

連絡先 大阪大学医学部附属病院 医療技術部検査部門 堀田 真希
E-mail: masakin@pop.dc5.so-net.ne.jp



日臨技推進事業 輸血セミナー2016



評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

今年の輸血セミナーは講演を5題用意しました。新しい話題としてC型肝炎の新薬と、6月に発表になったアルブミン製剤の使用ガイドラインについてお話しさせていただきます。午後からは、輸血の現場、副作用、血液センターの新しいサービスといった輸血療法について幅広い話題を揃えました。皆様の参加をお待ちしております。

- 日時** 平成28年2月20日(土) 10:00~16:00 (受付9:30~)
- 会場** 大阪医科大学北キャンパス 看護学部看護学科講堂
- 参加費** 会員3,000円 非会員5,000円
- 連絡先** 大阪府済生会中津病院 深田 恵利奈
E-mail: yuketsu_osaka@yahoo.co.jp
TEL: 06-6372-0675

- 10:00~11:00
講演1 肝炎の治療とは
—C型肝炎薬物治療のパラダイムシフト—
講師: ギリアド・サイエンシズ株式会社 児玉 龍
- 11:00~12:00
講演2 科学的根拠に基づいたアルブミン製剤の使用ガイドライン
講師: 大阪医科大学附属病院 河野 武弘
- 12:00~13:00 昼食休憩(昼食は各自でご用意ください)
- 13:00~14:00
講演3 輸血の実際~看護サイドからのお話し~
講師: 大阪医科大学附属病院 池添 香苗
- 14:00~15:00
講演4 輸血副作用 ~アレルギー性輸血副作用について~
講師: 日本赤十字社 近畿ブロック血液センター 松山 宣樹
- 15:00~16:00
講演5 血液センターからの情報提供
~赤血球抗原情報検索システムについて、
洗浄PCの進捗状況~
講師: 日本赤十字社 近畿ブロック血液センター 木村 恵子



多種
公開講座

第6回 中央地区地域オープンセミナー



評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

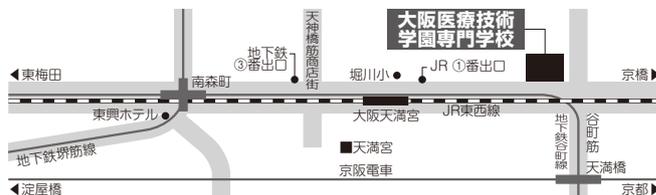
Theme 「検査説明・相談ができる臨床検査技師の施設報告」
~二施設での現在の取り組みを教えてください~

- 座長** 大阪府臨床検査技師会 地区事業部 部長 田畑 泰弘
- 演者** 1.市立岸和田市民病院 医療技術局 中央検査部 技師長 杉山 昌晃
2.パナソニック健康保険組合 松下記念病院 臨床検査科 副技師長 村瀬 幸生

「検査説明・相談ができる臨床検査技師の講習会」も2回目終了して、参加者された技師の方々が少しずつ各施設で前向きに進められていると思います。

今回、中央地区では、二施設での現在の取り組みを報告していただくことで、臨床側や患者様との対応や検査室内での苦労話など様々な問題点はありますが、各施設で今後の情報として少しでも参考にさせていただければと思い、今回のテーマを企画いたしました。平日の夜ではありますが、同多数の参加をお待ちしています。

- 日時** 平成28年2月19日(金) 18:30~20:00 (受付18:00~)
- 参加費** 500円(一律)
- 連絡先** 中央地区責任者
大阪府済生会野江病院 臨床検査科 森 啓悟
E-mail: kensa@noe.saiseikai.or.jp
TEL: 06-6932-0401(内線280)
- 会場** 大阪医療技術学園専門学校 2階大教室



評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

合同
開催

臨床検査データ標準化推進事業報告会

(大臨技標準化推進委員会・検体管理システム部門共催講演会)

第32回 技師長会

第32回技師長会は昨年同様、大臨技標準化推進委員会・検体管理システム部門・情報組織部とのコラボレーションにより、「臨床検査データ標準化推進事業報告会」と「第32回技師長会」を合同開催いたします。技師長会からは平成28年診療報酬改訂の最新情報と臨床検査に係るJCCLS共用基準範囲について講演研修会を予定しています。

検査データの標準化は必須の課題であり、大臨技としても、よりよい事業にすべく今後も継続して推進していく予定であります。

また、日臨技が進める日臨技精度保証施設認定制度に対応するため、評価項目を大幅に増やした4回目の精度管理調査となりました。検討すべき課題は様々あるかと思いますが、事業報告ならびに標準化推進事業に対するご意見をうかがいたいと思います。つきましては、標準化推進事業に参加された方、この事業にご興味のある多くの方々にご参加いただきたくご案内申し上げます。

詳細は2月号に掲載いたします。

日時 平成28年2月27日(土) 14:00~17:00
(受付13:30~)<予定>

会場 梅田阪急ビルオフィスタワー37階
新日本有限責任監査法人大阪事務所 セミナールーム
(定員100名)
大阪市北区角田町8番1号
会場までは、ビル1階シャトルエレベーターで15階スカイロビーまで昇り、オフィス用エレベーターに乗り換えて、37階で降りてください。

- 第1部** 臨床検査データ標準化推進事業報告会
- 第2部** 第32回技師長会
テーマ
「新時代へ対応した臨床検査のありかた」
- 第3部** 情報交換会

学術部からのお知らせ

第11回 学術部講演会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

Theme 「安心して当直検査を行うための基礎知識」

平成27年度の学術講演会を右記日程にて開催します。ふるってご参加いただきますようお願いいたします。なお、詳細は2月号に掲載します。

- 日時** 平成28年3月12日(土) 14:30~17:30予定
- 会場** 関西医大滝井病院 南館臨床講堂
- 参加費** 会員500円 非会員3,000円
- 連絡先** 大阪府立成人病センター 臨床検査科 井戸田 篤
E-mail: idota-at@mc.pref.osaka.jp

学術部 緊急検査部門からのお知らせ

第4回 緊急検査部門

Theme 未定

本年度、最後の定期講演会を開催します。テーマが決まりしだいホームページにて掲載させていただきます。たくさんの参加をお待ちしています。

- 日時** 平成28年2月13日(土) 14:30~16:30
- 会場** 大阪医療技術学園専門学校 2階大教室

 天候等の影響で開催が危ぶまれる際は
大臨技ホームページの「大臨技行事予定カレンダー」にある情報を当日にご確認ください。

職業体験

「来て、見て、やってみよう！病院でのお仕事」

2015年10月31日に行われた近畿大学医学部堺病院の職業体験は、2013年の開催から今年で3回目を迎えることになりました。広報委員会メンバーやボランティアスタッフを中心に開催しており、臨床検査部は2回目の参加になります。地域の小学生高学年を対象として「来て、見て、やってみよう！病院でのお仕事」というキャッチフレーズで約30名を募集し、医師、看護師・臨床検査技師、理学療法士、放射線技師、栄養士のうち希望する3ブースをグループごとに体験してもらいました。

臨床検査部では参加者同士で心電図記録(四肢のみ)を体験する生理機能検査や、牛のレバーを使って実際に見たり触れたりしながら固定から鏡検までの流れを知る病理検査、自分たちの体に流れている血液を顕微鏡で見る検体検査を行いました。参加した皆さんはやや緊張気味でしたが、色々なものに触れながら技師の話を熱心に聞き、学ばれていました。

また今回初の試みとして、日本臨床衛生検査技師会発行『「臨床検査技師」の仕事』のリーフレットを配布いたしました。リーフレットには各検査についてわかりやすい説明があり、職業体験以外の検査についても知ってもらう良い機会となり、臨床検査技師がより身近な職業になったと思われます。職業体験を通じて、「臨床検査技師」が将来の選択肢になることを願います。

近畿大学医学部堺病院 臨床検査部 辻本 麻愉



大阪府健康医療部 保健医療室長（通知）のお知らせ

検査施設における病原体等検査の業務管理要領の策定について

標記について、平成27年11月17日付け健感発第1117第2号により厚生労働省健康局結核感染症課長から通知がありました。

感染症法に基づく感染症の患者等の検体又は感染症の病原体の検査については、同法施行規則の一部を改正する省令において、検査の信頼性を確保するための実施体制等について規定されました。

つきましては、検査の信頼性確保の取組を促進するため、検査施設における病原体等検査の業務管理について要領が策定されましたので、本要領に基づき、法に基づく病原体等検査を実施されますよう、ご対応等よろしくお願いいたします。

実施時期 平成28年4月1日から施行

【参考】 大阪府ホームページ
大阪府感染症対策情報医療機関の方へ各種通知
(感染症法関係)

http://www.pref.osaka.jp/chikikansen/kansen/tsuuchi_kansensho.html
(厚生労働省通知等を掲載)

検査施設における病原体等検査の業務管理要領
各種標準作業書（SOP）例

大臨技事務局からのお知らせ

当会は日臨技と大臨技の両会への入会を推奨します！
会員の皆様に対し、大臨技は身近な教育により、日臨技は学会や認定技師制度などを通じ、それぞれの立場から人材育成や職域拡大の役割を担います。

■平成28年度「年会費」納入について

日臨技・大臨技の両方に入会されている方と、大臨技のみに入会されている方では会費の金額や納入方法が違いますので、ご注意ください。

※【重要】詳細は、大臨技ニュース12月号に同送しました「会費納入案内」もしくは大臨技ホームページをご覧ください。

日臨技・大臨技の両方に入会されている方は、日臨技へお問合せください。

1. 日臨技および大臨技に入会されている方

日臨技年会費10,000円と大臨技年会費5,000円を合算した15,000円が、日臨技に登録の振替口座から引落しされます。

2. 大臨技のみに入会されている方

郵便局に備付の「払込取扱票」（白地に青枠の用紙）に、必要事項を記入し、**大臨技年会費5,000円を3月31日迄にお振込ください。**

3月31日迄に納入されましたら平成28年度大臨技会員証を4月末頃にお届けできます。4月以降に納入された場合、次回の会員証発給は7月末頃の予定です。

3. 平成28年度より、大臨技のみ会員から日臨技にも入会される方

大臨技年会費5,000円は、日臨技年会費10,000円と合算した15,000円を日臨技に納入願います。詳細は日臨技へお問い合わせください。

■平成28年度「大臨技臨床検査技師賠償責任保険」（大臨技のみ会員専用）について 【重要】

平成28年度「大臨技臨床検査技師賠償責任保険」の募集は、平成28年4月1日からの加入となります。平成28年度「年会費」納入の際にご一緒に手続きをお願いいたします。※申込には、「保険加入依頼書」の提出と「保険料納入」の両方が必要です。どちらか片方だけでは加入できませんので、ご注意ください。

※大臨技臨床検査技師賠償責任保険への加入は、年毎に申込が必要です。

※一旦納入された保険料は返金出来ませんので、ご了承ください。

■大臨技退会申請について

平成27年度末で大臨技退会を希望される方は、**平成28年3月31日迄に退会申請を行ってください。**

大臨技ホームページより「退会届」をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、大臨技事務所まで提出してください。

※【重要】日臨技・大臨技の両方を退会される方は、日臨技と大臨技の両会に退会の申請を行ってください。日臨技だけに退会申請しても、大臨技も同時退会したことにはなりませんのでご注意ください。

■平成27年度大臨技会員証について

今年度の発行は10月の発送を待ちまして終了いたしました。11月以降は、「**会員登録証明ハガキ**」を会員証の代わりにさせていただきます。

*会員証が届くまでの間に、勉強会等に参加される場合は、**会費をお振込みされた時の受領証を会員証代わりにご使用ください。**

日臨技にも入会されている方は、大臨技ホームページの「会員専用ページ」から領収証を発行できますので、その領収証をご使用ください。

■会員証の再発行について

紛失等により再発行を希望される場合は、大臨技ホームページより「**大臨技会員証再発行申請書**」をダウンロードし必要事項を記入の上、**大臨技事務所に届けると共に、再発行費500円を郵便局より納入してください。申請書と再発行費の入金確認後、発行します。**

再発行日程は、会員証発行日程に準じます。11月以降は、「**会員登録証明ハガキ**」を会員証の代わりといたします。

■臨床検査技師免許申請中の新入会員の方へ

臨床検査技師免許の取得後、速やかに大臨技ホームページより「**臨床検査技師免許証番号届出書**」をダウンロードし、必要事項を記入の上、当会事務所まで提出してください。届出後、正会員として正式登録されます。

※【重要】届出が無い場合は、翌年3月末日で除籍扱いとなります。

■施設・技師会・住所等の変更について

所属施設や所属技師会の変更、転居による住所の変更などが生じた場合、速やかに大臨技ホームページより「**会員異動届**」「**施設登録用紙**」をダウンロードし、必要事項ご記入のうえ、**当会事務所までご提出してください。**送付先が不明な場合、大臨技ニュース等の送付物が届かなくなります。

質問・ご不明な点がございましたら、当会事務所までご連絡ください。

大臨技理事会報告 Executive board report

平成27年度 第8回(11月12日)開催分

1. 「法人設立30周年、技師会創設65周年」記念式典を2016年9月17日に開催する。
2. 大阪府技師連盟の代表に朝山 均氏、会計責任者に東野健一氏を選出した。
3. 来年1月1日から実施するマイナバーの取扱についての当会の運営マニュアルを作成する。

評価点
**基礎教科
 20点**
 (会員証をお持ちください)
 評価点
 日臨技生涯教育点数

第6回 南地区地域オープンセミナー・内視鏡検査部会コラボ企画!!!

Theme 「胃にまつわるお話し」 日本における胃がんの99%以上はピロリ菌が原因であると言われ、近年の胃がん検診では対策型胃がん検診が推奨されています。

2000年に胃潰瘍に対するピロリ菌検査と除菌治療が保険適用となって以来、13年後（2013年2月）ようやく慢性胃炎にも保険適用となりました。臨床検査技師にとってピロリ菌に関連したことや検査の果たす役割を理解しておくことは人々の健康を守ることに繋がることだと思います。また、普段内視鏡に携わっていない検査技師にとってぜひ知っておく役に立つ内視鏡のこと、画像のことをご講演いただく予定です。

- 14:30~15:30
第1部 「ピロリ菌にまつわるお話し」
 講師: 栄研化学株式会社 営業統括部
 マーケティング推進室 2部4課 大嶋 彰

- 15:45~16:15
第2部 「未来の内視鏡は・・・？」
 講師: 大阪労災病院 中央検査部 出野 憲由

- 16:30~17:30
第3部 「胃の構造と内視鏡治療の実際」
 講師: 大阪労災病院 消化器内科 楠本 侑弘

- 日時** 平成28年1月30日(土) 14:30~17:30 (受付14:00~)

- 会場** 大阪労災病院 管理棟3階大ホール

- 参加費** 500円(一律)

- 連絡先** 阪南中央病院 臨床検査科 喜舎場 智之
 E-mail: hannankensa@yahoo.co.jp



- ・ JR 阪和線・南海高野線 三国ヶ丘駅 バス約5分
 (系統番号 15・35 1番のりば阪和堺市駅前行・地下鉄新金岡駅前行・長曾根住宅前止行)
- ・ JR 阪和線 堺市駅 バス約20分(系統番号 35 1番のりば堺駅南口行)
- ・ 南海高野線 堺東駅 バス約10分(系統番号 15 1番のりば金岡町行)
- ・ 地下鉄御堂筋線 新金岡駅 バス約8分(系統番号 35 1番のりば堺駅南口行
 または三国ヶ丘駅前行)
- ・ 地下鉄御堂筋線 新金岡駅 徒歩約10分

リチウムキット

エスパ・Li II



体外診断用医薬品

自己認証番号 27A2X00166000024

リチウム製剤は、躁病や躁うつ病の躁状態の治療薬として広く使用されていますが、投与に際しては、中毒予防の為に血中リチウム濃度測定によるモニタリングが必要です。エスパ・Li IIは従来法をさらに発展させた汎用自動分析装置に対応した試薬です。



特長

- F28テトラフェニルボルフィンを主成分としました。
- 検体希釈が不要になりました。
- 汎用自動分析装置に対応できます。
 (対応機種については弊社までお問い合わせください)
- 開封後の安定性が向上しました。

(資料請求先) 製造販売
ニプロ株式会社
 大阪市北区本庄西3丁目9番3号

2015年5月作成

皆様のご意見、情報等お待ちしております。
 FAX:06-6763-5653 E-mail:webmaster@osaka-amt.or.jp
 郵送の場合は大臨技事務所までご送付ください。

平成28年2月号の原稿メ切りは**1月4日(月)**、3月号は**2月5日(金)**です。